

2020年4月10日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 日比 保史

バングラデシュ国チッタゴン - コックスバザール道路整備事業
(協力準備調査 (有償))
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・ 日時：2020年4月6日(月) 14:00~17:25
- ・ 場所：Skype 会議
- ・ ワーキンググループ委員：作本委員、谷本委員、寺原委員、日比委員
(長谷川委員はメール審議にて参加)
- ・ 議題：バングラデシュ国チッタゴン - コックスバザール道路整備事業(協力準備調査(有償))に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・ 配付資料：
 - 1) 【事前配布資料】バングラデシュ国チッタゴンーコックスバザール道路整備事業 SC 案
 - 2) 回答表
- ・ 適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第112回委員会)

- ・ 日時：2020年4月10日(金) 14:00~17:33
- ・ 場所：Skype 会議

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 「バ」国の高潮・洪水等の災害リスクとの関連で、設置場所及び構造上、十分な注意を払った建設工事を行うよう、DFR に記述すること。

代替案の検討

2. ADB の支援によって実施された F/S および D/D の成果が、本事業の代替案検討においてどのように活かされたのかを DFR で記述すること。
3. 代替案検討において最適案決定を大きく左右する各代替案の総合評価点(Total)の算定方法、特に各評価項目の配点時に使われる加重値 10~15 の根拠について、SHM や DFR において分かり易く説明・記述すること。
4. ケラニハットにおけるフライオーバー案の選択に関しては、「バ」国の推奨理由を確認し、十分な配慮を行い、決定すること。

スコーピング・マトリックス

5. 大気汚染に関するベースライン測定調査を実施するとともに、供用時のモニタリング確認を行う旨、DFR に記述すること。
6. 本事業に係る建設廃棄物の処理の仕組みを確認する旨、DFR に記述すること。
7. 事業実施にあたり地盤改良材やセメント固化材を使用する場合には、供用後の土壌汚染影響に十分な配慮を行うよう、DFR に記述すること。

環境配慮

8. 本事業で整備予定区間からの影響を評価するため、近接する保護区・森林・湿地等の生態系への直接・間接含めた影響について、調査・評価し、必要であれば緩和措置についても検討し、DFR に記述すること。
9. アジアゾウが生息する生態系に関し、現地調査による確認や現地専門家からの意見聴取を実施し、DFR に記述すること。

以 上